

庁議の概要

開催日 平成 20 年 8 月 26 日 (火)

項 目

- 1 各部局等の動向について【各部局等】
- 2 湧水情報について【土木部】

内 容

- 1 各部局等の動向について【各部局等】

政策企画部が取りまとめた各部局の今週の動きに関する資料を配布のうえ、各部局等より概要説明があり、意見交換を行った。

【主な意見】

- ・ 県有建築物の耐震化計画を今年度見直すと聞いているが、見直しの時期はいつごろになるか。学校の耐震化を早くするべき、という声が多いが、「今年度中に見直して、前倒しをしていきます」という説明しか、今はできない。できるだけ早く、県民に見直しをした計画をオープンにしていくべきではないか。
県有建築物の耐震化については、特に耐震性の低い教育施設の話が中心になっているが、県立の施設、知事部局の施設も同様の施設がいくつかあるので、今、順位付けなどの一覧表を精査中である。
ただ、教育委員会は、この9月に補正を予定しており、耐震診断等を行い、対策を行うということなので、それについては次回の庁議後の南海地震対策推進本部で、今回の計画の見直しに当たったの考え方と、教育委員会の分については前倒しをして耐震診断等を行うことについて了解を得たい。そして、その前段で、各部局の企画担当課長に、耐震計画の考え方などを説明する予定である。
見直しをした一覧表の完成は、今のところ1月を過ぎると思うが、予算とも関係があるので、全庁にもどんな状況であるか、様々なルートを使いながら報告したい。
- ・ 南海地震に関するパンフレット（南海地震による災害に強い地域社会をめざすステップ・アップ・ガイド）は、各世帯に配る予定なのか。
基本的には、市町村や自主防災組織の勉強会を中心に、単に配るというやり方ではなく、勉強を一緒にしていく啓発資料として利用したいと考えている。ホームページにもアップをしてPRをしているが、できるだけ利用していただくことが大事だと考えている。

- 2 湧水情報について【土木部】

土木部より湧水の状況について説明があった。

【概要説明】

- ・ 特に、吉野川の早明浦ダムは、平成 20 年の 8 月 26 日午前 7 時現在で貯水率 6.1%である。
- ・ 今日雨は降っているが、吉野川の上流部は、今のところそれほど大した量は降っていないので、大して降らなければ 28 日頃に貯水率 0%になる。
- ・ その場合、上水道の相当分のみを早明浦ダムから放流する。多少、河川環境維持用の水が残っているので、それを放流するという形になろうかと思う。平成 17 年の状況とほぼ同様の状況である。

以上